

北ガスグループ 2019年度 決算発表

2020年4月30日

2019年度 決算の概要

売上高は連結、個別ともに3期連続の増収（過去最高）、
経常利益は連結で6期連続、個別で4期連続の増益
（連結経常利益は、過去最高※）。

※連結財務諸表の開示義務化（1999年度）以降

北ガスグループ（連結）

売上高

1,263億75百万円（4.3%増）

経常利益

51億94百万円（23.0%増）

（ ）内は、前年比

北海道ガス（個別）

売上高

1,085億35百万円（3.7%増）

経常利益

32億83百万円（13.6%増）

（ ）内は、前年比

営業概況<ガス 家庭用>

新築シェアが好調。戸建エコジョーズ累計3.8万台。
導管延伸営業（既築燃料転換）も着実に進展（累計1,372件、ガス化率26%）。

戸建

- 「エコジョーズ」（＝戸建向けセントラルヒーティング）

【新築】 **6期連続 シェア 90%超**
※札幌地区ガス管敷設エリア内・当社調べ

【既築】 **エコジョーズ 522台**（前年比+80台）
※オール電化住宅からエコジョーズへの燃料転換が拡大

【新築+既築】 **累計 3万8千台**

2020年度目標4万台達成見通し

- 「ガスマイホーム発電」

【新築+既築】「コレモ」「エネファーム」
累計 4,848台（前年比+688台）

【コレモ余剰電力買取】
累計 2,654件（前年比+954件）

- 「EMINEL」

採用ハウスメーカーが拡大
84社（前年比+60社）

分譲集合

- 「Fact」
（＝マンション向けセントラルヒーティング）
※札幌市内竣工ベース・当社調べ

【新築】 **6期連続 シェア90% 超**
→ **1,533件獲得**（2棟を除く27棟獲得）

賃貸集合

- 「エコジョーズ・ガス給湯器・暖房機」等
※札幌市内竣工ベース・当社調べ

【新築】北ガスグループ（北ガス+北ガスジェネックス）
4,802件獲得（前年比▲12%）
⇒ **シェア59%（過去最高）**

営業概況<ガス 業務用>

ホテル、食品関連の需要増加。
LNGサテライト供給はBCPの観点から天然ガスコージェネレーション採用拡大。

都市エネルギー分野

(開発量：16.3百万m³)

【新築】

- ・ホテルや、病院・老健などへの重点営業

【既築】

- ・LINKSデータ活用による更新時期に合わせた巡回営業
- ・工業団地への導管延伸

中小口業務用分野

(開発量：1.1百万m³)

【新築】

- ・サブユーザー、地元外食チェーンへの営業

【既築】

- ・都心部繁華街飲食店への巡回営業

産業用分野

(開発量：5.6百万m³)

- ・中食市場拡大による食品関連工場（設備増設）への営業活動
- ・BCP対応に向けた天然ガスコージェネレーションの提案強化

LNGサテライト供給

- ・今期3件稼働
BCPの観点から、天然ガスコージェネレーションの採用拡大
- ・省エネノウハウ等を活かし全道各地で営業展開
⇒早期10万トン達成へ

主要計数<ガス（お客さま件数）>

新設件数は5年連続で1万件超。
お客さま件数は7年連続で純増（58万件台回復は2000年以来19年ぶり）。
新設増、かつガスをご利用いただく用途が拡大。

お客さま件数 (メーター取付数)

583,819件（+6,056件）

※（ ）内は、前期末577,763件との比較

（開栓数：498,339件）



新設・撤去件数

	新 設	撤 去	増 減
家 庭 用	11,012	5,056	+5,956
業 務 用	880	780	+100
合 計	11,892	5,836	+6,056

主要計数<ガス（販売量）>

お客さま件数増により前年を上回る。
 家庭用は2億m³を超え、中計目標を1年前倒しで達成。

ガス販売量

5億9千4百万m³（前年比 +2.8%）

（単位：千m³）

分野	2019年度	前年度	前年比	増減率	要因
家庭用	201,231	192,537	+8,694	+4.5%	お客さま件数増、ガス暖房・給湯の標準化
業務用	商業用	193,920	▲ 1,306	▲0.7%	※
	工業用	90,889	+2,439	+2.8%	大型物件の本格稼働
	公用	58,752	+3,992	+7.3%	大型物件の稼働
	医療用	39,570	+1,322	+3.5%	お客さま件数増
	計	383,131	376,684	+6,447	+1.7%
卸供給	10,261	9,263	+998	+10.8%	
合計	594,622	578,484	+16,138	+2.8%	

※北ガス札幌発電所（北ガスグループ本社ビル）の稼働により、北海道熱供給公社の中央エネルギーセンターが発電所の排熱を受け入れたことによる使用量減 等

営業概況<電力>

お客さま接点機会でのPR等を通じて、5.3万件（契約件数）獲得。

営業活動

- お客さま接点機会での営業活動、イベントでのPR

エネルギーサービス

- エネルギーの見える化サービス
* TagTag会員数：約47,600件
- 北ガスポイントの利用先拡大
* 北ガスグルメチケットへの交換
* 三越伊勢丹グループ「エムアイカード」ポイントへの交換
- 卒FIT太陽光余剰電力の買取開始
* 買取価格：11円/kWh



環境広場さっぽろ（8月12日・13日）



室蘭ガスイベント（9月14日・15日）

主要計数<電力>

道内の離島を除く全175市町村、17万件超のお客さまへ供給。

お客さま件数

171,352件
(前期末比 +32,999件)

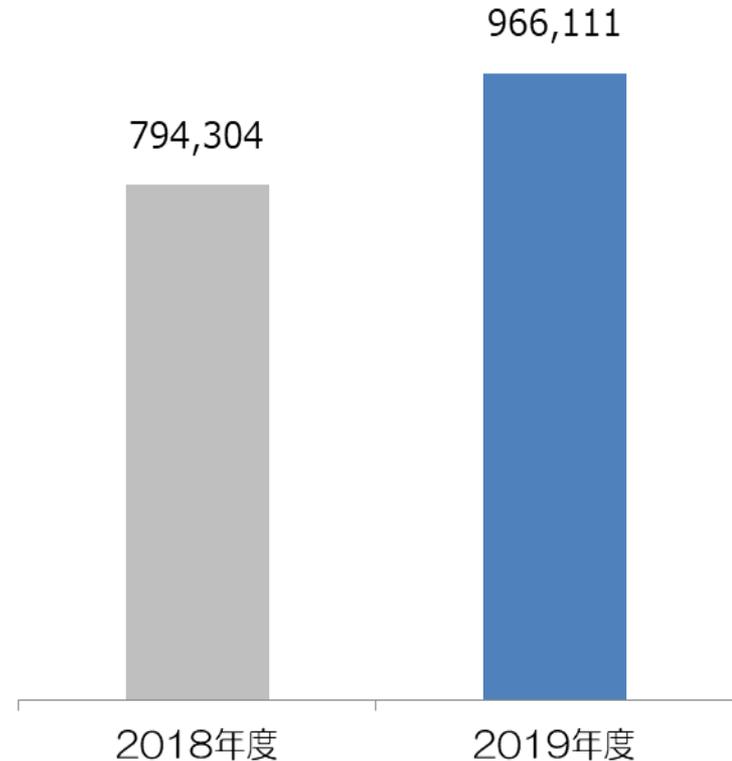
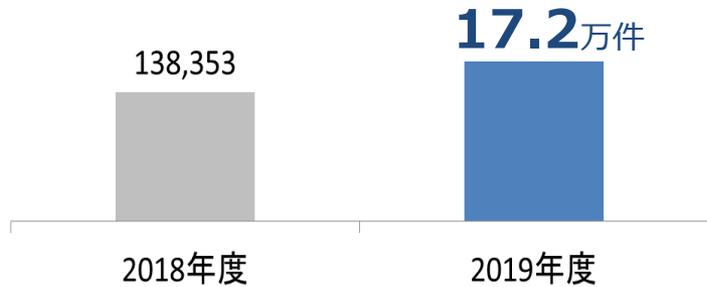
電力販売量

9億6千6百万kWh
(前期末比 +21.6%)

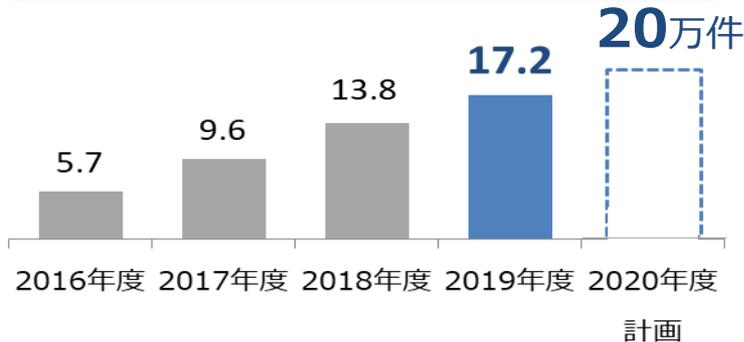
(※) 遡及再点件数を含む、
3月末供給件数

172,174件 (※)

(単位：千kWh)



累計お客さま件数の推移



2019年度 決算

連結、個別ともに売上高、経常利益増

(百万円)

		当期末	前期末	増減	増減率	主な理由
売上高	連結	126,375	121,174	+5,201	+4.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス、電力のお客さま増加 ・熱供給事業増、工事・器具販売増（連結）
	個別	108,535	104,696	+3,838	+3.7%	
営業利益	連結	4,606	4,060	+545	+13.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・熱供給事業増、工事・器具販売増（連結）
	個別	2,972	2,932	+39	+1.3%	
(営業外損益)	連結	588	162	+426	+262.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕引当金の戻入（連結）
	個別	311	▲41	+352	-	
経常利益	連結	5,194	4,222	+971	+23.0%	
	個別	3,283	2,891	+392	+13.6%	
(特別損益)	連結	0	657	▲657	-	<ul style="list-style-type: none"> ・前年の石狩LNG棧橋株式会社へのLNG受入設備売却益による反動
	個別	0	1,315	▲1,315	-	
当期純利益	連結	3,954	3,503	+450	+12.9%	
	個別	2,444	2,980	▲536	▲18.0%	

※連結の「当期純利益」は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を表す

2019年度 決算<売上高 内訳>

ガス、電力でのお客さま件数増、工事・器具販売増などにより増収。

個別

(単位：百万円)

項目	当期	(構成比)	前期	(構成比)	差額	増減率
都市ガス	57,718	(53.3%)	56,997	(54.5%)	+721	+1.3%
工事・器具他	12,086	(11.1%)	11,817	(11.2%)	+269	+2.3%
LNG販売	9,141	(8.4%)	10,153	(9.7%)	▲ 1,012	▲10.0%
電力	27,483	(25.3%)	23,982	(22.9%)	+3,501	+14.6%
その他付帯事業 (LPG等)	2,104	(1.9%)	1,745	(1.7%)	+359	+20.6%
合計	108,535	(100%)	104,696	(100%)	+3,838	+3.7%

連結

(単位：百万円)

セグメント	当期	(構成比)	前期	(構成比)	差額	増減率
ガス (都市ガス、LNG販売)	66,021	(52.3%)	65,585	(54.1%)	+436	+0.7%
電力	27,659	(21.9%)	24,411	(20.1%)	+3,247	+13.3%
エネルギー関連 (工事・器具、LPG他)	31,258	(24.7%)	30,020	(24.8%)	+1,238	+4.1%
その他	1,435	(1.1%)	1,157	(1.0%)	+278	+24.1%
合計	126,375	(100%)	121,174	(100%)	+5,201	+4.3%

連結財政状態・配当

新社屋、札幌発電所等の設備投資により総資産が増加。
 一方、利益剰余金の増加により自己資本比率は32.2%に上昇。

(億円)

	当期末	前期末	増減	主な理由
総資産	1,503	1,495	+7	<ul style="list-style-type: none"> ・新社屋、札幌発電所等の設備投資増 ・原料ガス残高増加
負債	999	1,026	▲27	<ul style="list-style-type: none"> ・未払金等の減少
純資産	504	469	+35	<ul style="list-style-type: none"> ・当期純利益による利益剰余金の増加

	当期末	前期末	増減	配当
有利子負債 (億円)	799	793	+5	【年間】1株につき 50円 <ul style="list-style-type: none"> ・上期 25円、下期 25円 ・前期に比べ年間 5円増配
自己資本比率 (%)	32.2	30.1	+2.1	

2020年度 業績予想

新型コロナウイルスや原油価格の下落等の影響があるものの、お客さま獲得増、経営全般にわたる効率化につとめていく。

ガス販売量目標

5億8千万m³ (対前年2.4%減)

電力目標

累計お客さま件数 20万件 (対前年16.7%増)

北ガスグループ (連結)

売上高

1,110億円

経常利益

30億円

当期純利益

20億円

北海道ガス (個別)

売上高

960億円

経常利益

18億円

当期純利益

13億円

<設備投資>

2020年度 (計画)

110億円

住宅賃貸事業への参入

北ガスグループの持続的な成長に向けて、新たに住宅賃貸事業に参入する。

北ガスグループが住宅賃貸事業に取り組む目的

▶ お客さまとの長期的な関係の構築

⇒ 「住宅 × エネルギー × サービス」をパッケージで提供することで、賃貸にお住いのお客さまとも関係をより強固にしていく

▶ 地域活性化への貢献

⇒ 不動産の有効活用、まちづくりと連携した物件の提供などを通じて、地域の発展に貢献していく

▶ 『総合エネルギーサービスの実践の場』として活用

⇒ 「住まい」に深く関わることで得たノウハウをもとに、家庭用分野全体で活用。総合エネルギーサービス事業を深化させていく

- 住宅コンセプト、具体的なサービス等、詳細検討を開始。2021年度からの事業開始を目指す。

(以降、参考資料)

新型コロナウイルス感染症に関する当社の取り組み

エネルギーの安定供給・保安の確保に最大限つとめるとともに、
お客さま、ならびに当社グループ従業員の健康、
安全を確保する等の観点から、必要な対策を講じています。

お客さま向け業務

- お客さま宅訪問時は、マスク着用のほか、除菌液の携帯
- ガス料金、電気料金の支払期限の延長

エネルギーの 安定供給・保安確保

- 安定供給、保安確保のための交代勤務従事者への応援体制整備、非常時の執務室の確保

当社グループの従業員向け対策

- 出社前の検温、発熱（37.5度以上）等の症状がある場合は自宅休養
- 出張の原則禁止、会議・研修・セミナーへの参加自粛、主催イベントの自粛
- 時差出勤、テレワーク、サテライト勤務、執務スペースの離隔

その他

- 採用活動におけるWEB活用
- 感染症が沈静化した段階で、「グルメチケット」を活用した経済活性化への貢献

ガス事業基盤の強化

お客さま件数、開発量の増大



ガス導管延伸営業



総合エネルギーサービスの提供
(GHP遠隔監視システム)



LNGサテライト供給の拡大

分散型エネルギーシステムの普及拡大



エネファーム、コレモの拡販
(BOS提案・コレモ余剰電力の買取)



重要拠点への
天然ガスコージェネレーションの提案

電力事業の推進

北海道全域での需要の獲得



接点機会を活用したPRの強化、キャラバン隊の展開

電源の整備・調達



北ガス石狩発電所の
ガスエンジンの増設



再生可能エネルギーの導入拡大

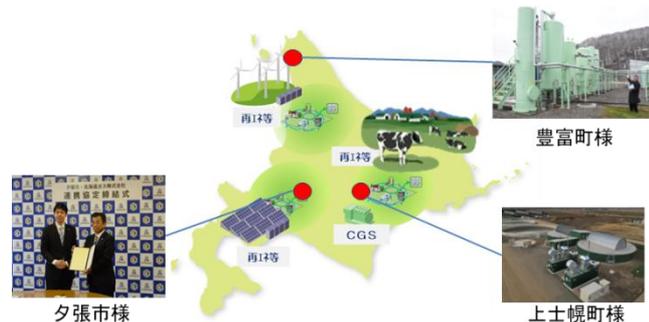
エネルギーマネジメントサービスの展開

「EMINEL」の拡販



新築デファクト化
既築市場への展開

地域連携



自治体等との連携による
エネルギー地産地消モデルの拡大

CEMS (コミュニティエネルギーマネジメントシステム)



北4東6周辺地区再開発
お客さま向け省エネサービスの本格開始



新さっぽろ地区再開発
先進的なエネルギーマネジメントの構築